

オプションファイルを使用してネットワークライセンスアクセスを制御する

バージョン	すべてのバージョン
製品	すべての製品
リリース済み	2019年3月12日

概要

ライセンスおよび特定のライセンスへのアクセスは、ライセンスサーバーで設定したオプションファイルを使用して制御できます。このライセンス管理方法は、ライセンスが会社や大学内の複数のグループ間で共有している場合に最も適しています。同じオフィス内の同僚間でライセンスを共有したい場合は、ショートカットのライセンス管理方法が適切な場合があります。詳細については、[プログラムショートカットを使用したライセンス機能の制御](#)を参照してください。

Flex Options ファイルの設定

1人のユーザーまたは複数のユーザーのグループに対して SIMetrix または SIMPLIS ライセンスを予約するようにライセンスサーバーをセットアップするには、flexlm オプションファイルを作成する必要があります。RESERVE 機能を使用して、特定のユーザーのために特定のライセンス機能が予約できます。ライセンスへのすべてのアクセスを制限する必要がある場合は、basic と呼ばれる機能のみを制御する必要があります。この手順については、次のセクションで説明します。ここで説明する手順では、例として Windows を使用していますが、手順は特に注記がない限り Linux システムでも同じです。

手順

1. [オプションファイルの作成](#)
2. [ライセンスファイルの編集](#)
3. [ライセンスサーバーを再起動する](#)

オプションファイルの作成

特定のユーザーのためにすべての機能を予約するには

ここでは、すべてのライセンスのアクセスを制限するオプションファイルを作成します。つまり、SIMetrix にアクセスできるすべてのユーザーはどのバージョンにもアクセスできますが、一部のユーザー

ザーはまったくアクセスできません。

```
RESERVE 1 basic USER tom  
RESERVE 1 basic USER bill
```

「tom」を実際のユーザー名(ユーザーがログインに使用する名前)に置き換えます。上記は、tom と bill の SIMetrix ライセンスが予約されます。

多くのユーザーがいる場合、これはグループを使用してより簡単に実装できます。

```
GROUP simetrix bill tony fred  
RESERVE 1 basic GROUP simetrix
```

特定の機能を予約する

複数のオプションライセンスを持っていて、特定のユーザーのみがより機能の高い製品にアクセスできるようにしたい場合は、その製品の固有の機能が制限できます。たとえば、SIMetrix Classic のライセンスと SIMetrix Pro のライセンスをいくつか持っている場合、va および vl 機能を制限して、特定のユーザーのみが SIMetrix Pro にアクセスできるようにすることができます。

予約する機能を決めるには、次の表を参照してください。これは、各製品が使用できるライセンス機能を示しています。

SIMetrix Classic	basic, digital, advanced
SIMetrix Pro	basic, digital, advanced, va, vl
SIMetrix Elite	basic, digital, advanced, va, vl, micron, rtn
SIMetrix/SIMPLIS	basic, digital, advanced, simplis_if
SIMetrix/SIMPLIS Pro	basic, digital, advanced, va, vl, simplis_if, mcsp1
SIMetrix/SIMPLIS Elite	basic, digital, advanced, va, vl, micron, rtn, simplis_if, mcsp1,mcsp2

たとえば、SIMetrix Pro 製品を「tom」という1人のユーザーに制限するには、次のように追加します。

```
RESERVE 1 va USER tom  
RESERVE 1 vl USER tom
```

vaと**vl**は、Pro および Elite 製品でのみ提供される機能で、それぞれ Verilog-A と Verilog-HDL を有効にします。

DVM 機能の使用を制限するには、以下のセクションを参照してください。

[Notes for SIMPLIS and DVM \(SIMPLIS および DVM に関する注意事項\)](#)

ライセンス ファイルの編集

作成したオプション ファイルを使用するようにライセンス ファイルに少し変更を加える必要があります。

ライセンス ファイルの「VENDOR NEWTECH」行の末尾に「options=options-file-path」を追加します。例えば：

```
VENDOR NEWTECH options="C:\Program Files\SIMetrix-SIMPLIS-LM\options.txt"
```

これはご自身で行います - この追加によってライセンスが無効になることはありません。オプション ファイルにはフルパス名を使用することをお勧めします。

ライセンス サーバーを再起動する

オプション ファイルを作成し、ライセンス ファイルを編集したら、ライセンス サーバーを再起動する必要があります。Windows では、これはコントロールパネルの [サービス] アイコンを使用して行うのが最適です。これは通常、「管理ツール」の下にあります。Linux の場合は、ライセンス デモン lmgrd を再起動します。

SIMPLIS と DVM に関する注意事項

同じ設定を使用して、SIMPLIS シミュレーターや DVM などの SIMPLIS Technologies 機能が予約できます。これらについては、pdt ベンダー デモン行で指定された別のオプション ファイルを設定します。

```
VENDOR pdt options="C:\Program Files\SIMetrix SIMPLIS LM\simplis_options.txt"
```

DVM システムを予約するには、次のようにします

```
RESERVE 1 dvm_if USER tom  
RESERVE 1 dvm_standard USER tom  
RESERVE 1 dvm_advanced USER tom
```

SIMPLIS 機能は、SIMetrix オプション ファイルの simplis_if 機能を使用しても制御できます。これにより、SIMetrix GUI 内から SIMPLIS が実行できなくなり、実際には SIMPLIS は完全に使用できなくなります。SIMPLIS へのアクセスを制限するにはこれで十分であり、通常は pdt デモン用に別のオプション ファイルを設定する必要はありません。